

くいやま

社協だより

令和6年(2024)年

第129号

3月

除雪ボランティア —栗高男子野球部—

栗山高校（駒井信和校長）男子野球部の学生の皆さんに除雪ボランティアの協力をいただきました。（関連記事P2）



社協
ホームページ

- 栗高男子野球部除雪ボランティア…2
- 栗山町赤十字奉仕団炊き出し協力…2
- タブレット活用事業……………3
- 共同募金実績報告……………4
- 法人募金・特別会費協力事業所……5
- 街頭募金、学校募金……………6
- 社協賛助会員名簿……………6、7
- お知らせ等……………8

社協では、スマートフォンやタブレットを使った教室の開催や交流イベントが続いています。急速なデジタル社会への変化により、買い物など身近なところでタッチパネルを操作する機会が増えてきました。わからないことは「一人で悩まず、みんなと一緒に覚えよう」というのが社協の取組みです。

また、スマートフォンやタブレットは一人で楽しむものという印象を抱きがちですが、仲間同士でゲームをしたり、教え合ったりし、交流するツールにもなっています。

地域の集会所で集まる機会など、スマートフォンやタブレット講座の開催希望がありましたら社協までお気軽にご連絡ください。



タブレットで交流「サンタの笑顔」
介護学生のサポートでタブレットに挑戦



タブレット体験「ふじ団地ふれあいサロン」



スマホ教室「遊歩道の駅つぎたて」



スマホ教室「栗山町消費者協会」



タブレット体験「湯地えびす会」

スマホ・タブレットが
つながり
笑顔になる・日常に彩りを

栗高男子野球部 ー除雪ボランティアー

2月4日 栗山高校（駒井信和校長）の男子野球部4名と先生が地域貢献活動の一環で、除雪ボランティア活動の協力をいただきました。

除雪ボランティアの対象となった、1人暮らしの野呂修介さんは「屋根から落ちた雪が屋根と繋がり、昼間も電気をつけないと暗かったので、とても不安」と話され、今回の依頼となりました。



◆男子野球部のメンバー左から
小林 桜斗(さくと)選手【副主将】
松尾 弘人(ひろと)選手【主 将】
清水先生
助川 劉砥(りゅうと)選手
那須 凜花(りんか)マネージャー



◆活動のお礼と主将あいさつ

野呂さんは「栗山高校野球部の皆さんが、一生懸命に除雪していただき、窓から陽の光も入るようになり、大変助かりました」とお話しされていました。

松尾弘人主将は「屋根からの雪でふさがっていた窓が見えるようになり、達成感や充実感があります。除雪ボランティアなどの活動を通して、地域の皆さんに応援してもらえるチームを目指して頑張りますので、応援よろしく願いいたします」と話していました。

栗山町赤十字奉仕団 ー炊き出しサポートー

1月21日、栗山町赤十字奉仕団（坂口由紀子団長）は、栗山町青少年育成会の指導者講習会「防災を学ぼう！」で、炊き出し釜を使った非常食づくりの協力を行いました。

2つの炊き出し釜を使い、ハイゼックスシートを使用したドライカレーと豚汁をつくり、参加者に提供いたしました。

参加者した小学生から「星3つ!」の声があがりました。

※ハイゼックスシート（炊飯袋）

耐熱安定性があり、災害時の炊き出しで、研いだお米と少量の飲料水を入れて、煮ることで、温かいご飯が炊きあがります（煮る水は飲料水でなくとも可）。



ハイゼックスシートの
使い方を説明

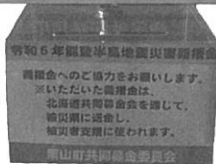
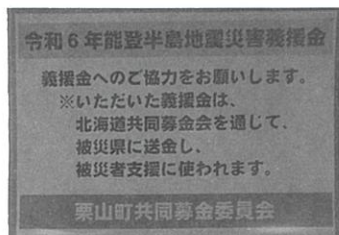
2つのマイ
したハのナ
イの炊き
ドゼ10
ラッ出度
イクしを
カス釜で
レーン、
作れる中
り。使汁



炊きあがり
ハイゼックスシート

令和6年能登半島地震義援金の募集

栗山町共同募金委員会



皆様からいただいた災害義援金は、
1月31日に第1回目の送金を行いました。

○送金額 183,033円

- 協力団体
- ・栗山町消費者協会
 - ・栗山更生保護女性会
 - ・栗山町月見草の会
 - ・桜丘町内会
 - ・まちなかカフェ「かくた」
 - ・証継寺檀家一同
 - ・願船寺檀家一同
 - ・脳の健康教室自主サークル
(栗山・継立)
 - ・栗山リーディングサービス
とらいあんぐる
 - ・社協役職員一同
 - ・栗山町共同募金委員会役員

- 募金箱設置場所
- ・社会福祉協議会窓口
 - ・いきいき交流プラザ「サンタの笑顔」窓口
- 募金箱設置期間
- 1月10日～3月末日まで(予定)
- 義援金へのご協力をお願いします。
- ※いただいた義援金は、
北海道共同募金会を通じて、
被災県に送金し、
被災者支援に使われます。

※公共施設は、日本赤十字社栗山分区さんが募金活動を実施しております。

ご厚志ありがとうございます

●金一封

ホテルパラダイスヒルズ 様 (湯 地)より
社会福祉事業へ
寺 嶋 敏 雄 様 (中 里)より 妻の逝去に際して
そらち南農業協同組合
(山本 博行代表理事組合長) 様より 社会福祉事業へ
(株)メリーワーク (山本 博行代表取締役社長) 様より
社会福祉事業へ
栗山地区連合会 (堺 香緒会長) 様より 社会福祉事業へ

令和5年12月11日以降令和6年2月9日までに
お寄せいただいた方

●物品

そらち南農業協同組合
(山本 博行代表理事組合長) 様より 牛乳券 (商品券)
(有)山崎建設 (山崎 信治代表取締役) より
配食サービス調理ボランティアのまな板4枚

※社協への寄附金は確定申告時の所得控除の対象になります。

令和6年3月1日発行(第129号)

発行：社会福祉法人
栗山町社会福祉協議会

〒069-1513 栗山町朝日4丁目9番地36
栗山町総合福祉センター「しゃるる」1階

TEL (0123) 72-1322

FAX (0123) 72-5121

E-Mail k-shakyo@jeans.ocn.ne.jp

ホームページURL

<http://www.kuriyama-shakyo.or.jp/index.html>

印刷：山東印刷株式会社



社協だよりは、
赤い羽根共同募金
の助成を受けて、
作成しています



栗山町赤十字奉仕団が炊き出しのサポートをした栗山町青少年育成会の行事(2ページ)に参加しました。

奉仕団では、ハイゼックスシートで白米を炊いたことはあったのですが、味付け(今回はドライカレー)をするのは初めてだったそうで、事前に本番を想定したテストをするなど試行錯誤して迎えた当日。

参加した青少年育成会の皆さんが美味しいと話しながら、食べられており、団員の皆さんの準備が報われた瞬間でした。

一緒に作られた豚汁もとても美味しかったです。

編集後記